

第 26 回青年対策交流集会に参加して

講義を受けた感想としまして、サブロク協定とは、実は私たち働く一人ひとりの命と安全を守るためとても大切なものです。

日本の法律では 1 日 8 時間までしか働いてはいけないと言う決まりがあります。でもそんな時に会社と私たちがこの時間内なら健康を壊さず頑張れると言うあらかじめ約束を交わすのがこのサブロク協定です。

仕事に一生懸命取り組む事は素晴らしいことです。しかし 1 番大切なことは皆さんが元気に職場に来られることです。自分らしく健やかに働くためみんなで協力して心も体も大切にしながら進んでいきたいと感じました。

災害時における港湾従事者については、東北地方の方の実体験を話して頂き数名の命が奪われた話を聞きました。

コンテナターミナルでは、ストラドルキャリアが対岸まで流された話を聞き災害の大きさを身に染みて感じることができました。

災害についての対策としては、災害マニュアルや業界との連携が大切とおっしゃっていました。避難経路の確保を職場でも周知していかなければいけないと感じることができました。

関東地方が受け入れ地本として運営することとなり、慣れないながら司会、進行を経験することができました。とても貴重な経験となりました。

災害時では自然災害の怖さを知り、僕の職場では避難訓練をしていないため、避難訓練の重要性を周知していきたいと思います。

関東地方横浜支部港栄分会
青年副部長 間宮 浩貴